



第38号  
(発行所)

真宗大谷派  
松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30  
TEL (052) 411-5301  
FAX (052) 411-5341

さる三月十一日発生 of 東日本大震災は、大津波をともしない東北・関東をはじめ国内の広範な地域に甚大な被害をもたらしました。

九十年生きられた親鸞聖人も天災に幾度も遭われ、苦難の中たくさんの同朋との悲しい別れを受けとめられました。晩年の御消息には、生死無常の道理はくわしく如来が説かれるところ、いよいよ本願を信じ、往生浄土の道を行んでいかなばならないと記されています。

このたびの震災によって私たちは、あらためて生死無常の世界を生きている身の事実を知らしめられ、その中で今、御遠忌法要の御仏事をおつとめするご縁をたまわりました。



親鸞聖人700回御遠忌(昭和36年4月)

## 《報告》

春彼岸法要にて、東日本大震災の義援金を集めさせていただき、ご協力ありがとうございました。総額四万一千三百二十一円は、本山に納めました。今後も義援金ご協力願います。

## 京都本山奉仕募集

(日時) 6月～7月ごろ

2泊3日

本山の宿泊施設に泊まります。  
 本堂でお勤めしたり、お説教を聴き、  
 本堂のお掃除をします。  
 お問い合わせは、廣讚寺まで。

## 20組のご命日のつどいに参加して

村上三智雄

初めての参加で地下鉄名古屋からは西へ十分ほどかかった。料亭美よしの二階全和室を開放し超満員で、廣讚寺からも若はじめ多数お見えになっていたので心細くはならず。講師は竹原了珠師。能登半島の寺の僧で、本山を中心に日本中を教化活動されている方。話も世界的視野に立っていた。法話の内容は私なりに三つにまとめてみました。

(一) ペンは剣より強しは昔のこと。今はインターネット(ネット)は核兵器より強し。

(二) 宗祖の七百五十回御遠忌は自分の気持ちをきめて、お迎えしよう。

(三) 汝、<sup>なんじ</sup>いまの境地にとどまることなかれ。

(一) は最近の日中・日露・日米の時事問題でネットに尖閣諸島の魚釣島付近で日本の海上保安庁の船と中国の漁

船が衝突したところを、生々しく映像が全国に流れたことがきっかけで、こんな表現をされ「日本の主権はどうなつとる」心配されていた。西の沖縄付近で、日中・日米がごたごたしているすきにロシアは北方領土へ。何か太平洋戦争末期の様相に似てませんか。

(二)(三)では師は四年ほど前から念仏をはじめた。これが教化活動に大いに役立つと。ガンを宣告された若い女性が余命少しと宣告され、私に「これで死んでいきます」と言わずに「これで生きていきます」と言われた。この心が大切だ。

「へたつたらあかん…。つなかりは命やで…」

(阪神淡路大震災激励文より)

あれから十六年たち、今回の東日本大震災。悲しみや苦しみ、怒りなど現状は厳しいがやっぱり「今をどう生きるか」この気持ちを大切に御遠忌を迎えたいと思う。

追伸

この会に出席予定の大先輩秋田都三さんが欠席。折り詰めに膳分を入れてと隣の秋田さんとやっていたが、この一週間後、突然の訃報

(ふほう)に接した。

学習会を含めて、

たった四年だったが

仏事や人生いろいろ、

まだ半分だけ教えていただき本当にありがとうございます。また半分だけ教えていただき本当にありがとうございます。ありがとうございました。



【行事予定】(五月)

五月五日(祝)

復興永代経執行

午前十時より おつとめ おとき

法話 本澄寺 明仁師

五月十四日(土)七時半 同朋委員会例会

(役員は七時)

十九日(木)二時～四時 学習会

二十八日(土)十時 二十八日講・女人講

【行事予定】(六月)

六月十一日(土)七時半 同朋会(役員は七時)

十九日(日)二時 学習会

二十八日(火)十時 二十八日講・女人講

